

熊本商工会議所
2008年経済予測アンケート
結果報告書

KEY WORD

- ★ 景気の現状、回復予測…「足踏み状態」が48%でトップ
次いで「やや悪化」が29%
時期は、「わからない」が48%とトップ
次いで、期待を込めて「08年内」回復が19%
- ★ 産業別予測…「製造業」…「やや好転」または「変わらない」
「飲食業」「金融・保険業」「サービス業」…「変わらない」
「建設業」「運輸・通信業」「卸売・小売業」…「やや悪化」
- ★ 円・金利相場は「やや高」を予測、株相場は「やや高」「やや安」の
両極化
- ★ 経営上の問題点は「受注、販売競争の激化」が53%でトップ
- ★ 「営業利益」を重視
「新規設備投資」に慎重姿勢
- ★ 「原油・原材料価格高騰」コスト上昇にも関わらず販売価格への転嫁
難

熊本商工会議所

2007年12月

＜本調査のお問い合わせ＞
熊本商工会議所 商工振興部 情報調査課
TEL354-6688 FAX326-8343

熊本商工会議所
2008年経済予測アンケート

I N D E X

| | |
|-----------|----|
| 1. 調査概要 | 1 |
| 2. 景気 | 2 |
| 3. 産業別予測 | 3 |
| 4. 円市場 | 7 |
| 5. 株式市場 | 8 |
| 6. 金利 | 9 |
| 7. 経営の問題点 | 10 |
| 8. 経営の重視点 | 11 |
| 9. 原油価格高騰 | 15 |

※巻末…「2008年経済予測アンケート」調査用紙

調 査 概 要

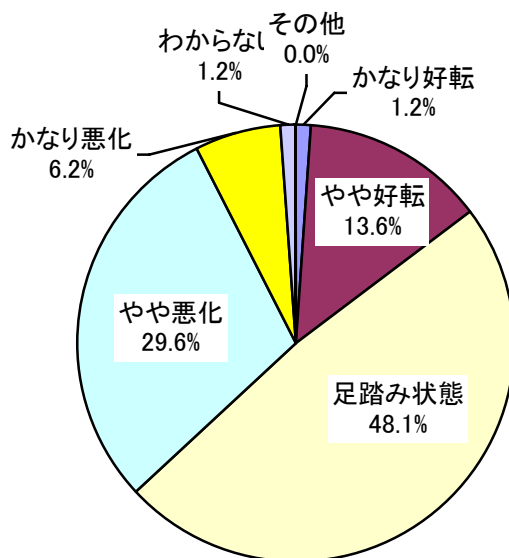
1. 調査期間 平成19年12月3日(月)～12月7日(金)
2. 対象者 熊本商工会議所 役員並びに議員
3. 配布数 101名(101企業)
4. 調査方法 調査用紙配布:郵送 調査票回収:郵送またはFAX
5. 回答者数 81名(有効回答率80.2%)
6. 調査機関 熊本商工会議所

※グラフ内()は、前年数値です。

2008年 景 気

【景気の現状】

「足踏み状態」48.1%、「やや悪化」29.6%

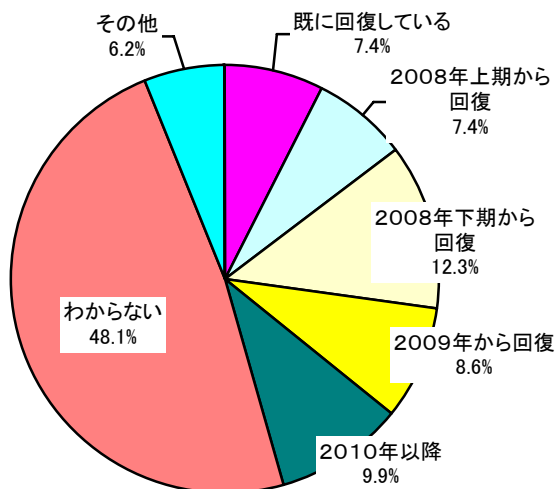


景気の現状(2007年11月下旬)について、「足踏み状態」が48.1%(対前年比1.3ポイント減)でトップ、次いで「やや悪化」が29.6%(対前年比17.6ポイント増)、そして「やや好転」が13.6%(対前年比21.3ポイント減)となった。

「足踏み状態」がほぼ半数を占めるものの、「やや悪化」と「かなり悪化」を合わせると35.8%(対前年比23.8ポイント増)となり、厳しい現況を示す結果となった。

【景気の回復時期】

「わからない」が48.1%とトップ、次いで「2008年内」19.7%「2009年以降」18.5%



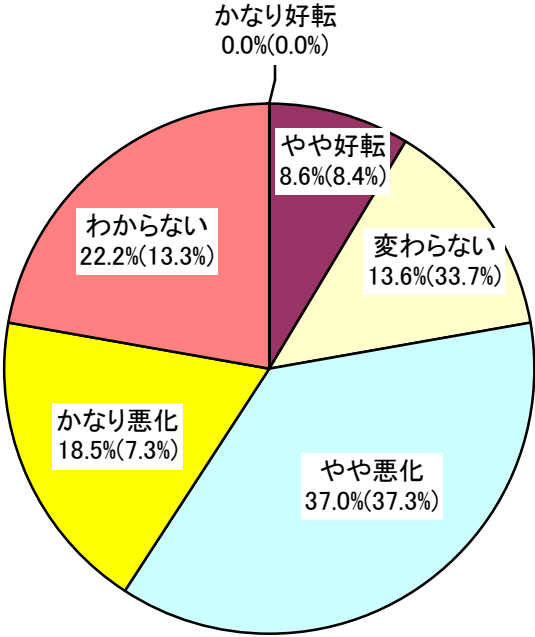
景気の回復時期については、「わからない」が48.1%とほぼ半数を占めた。次いで、「2008年内」は上期7.4%と下期12.3%を合わせた19.7%、「2009年以降」については2009年からと2010年以降を合わせても18.5%に止まり、景気回復への好材料に乏しく、原油・原材料の高騰や個人消費の低迷等、先行きに対する不安感が現れた結果となった。

2008年 産業別動向

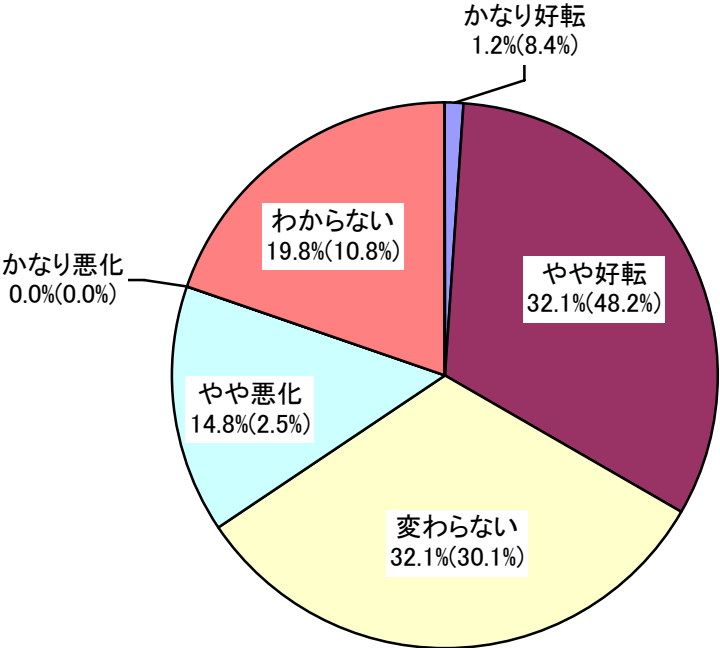
※グラフ内の()については、前年数値です。

産 業 別

建 設 業



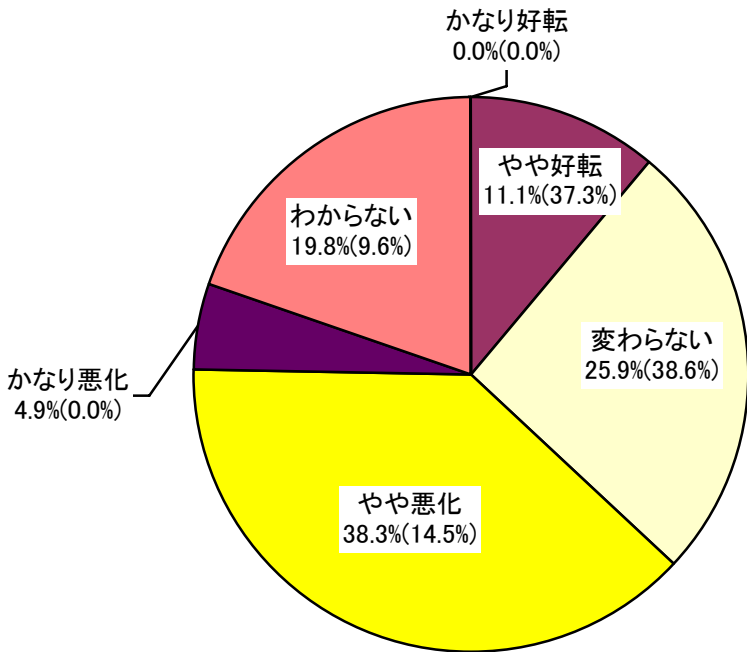
製 造 業



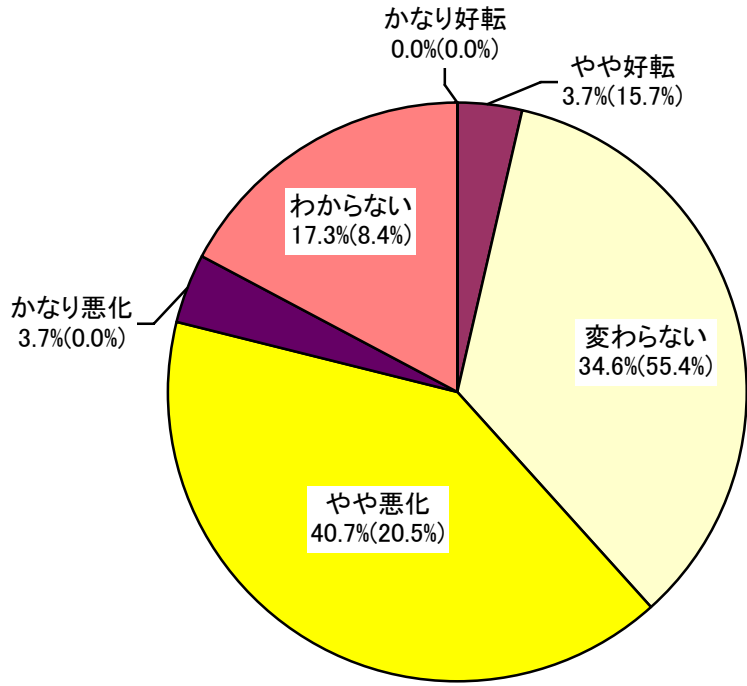
2008年 産業別動向

※グラフ内の()については、前年数値です。

運輸・通信業



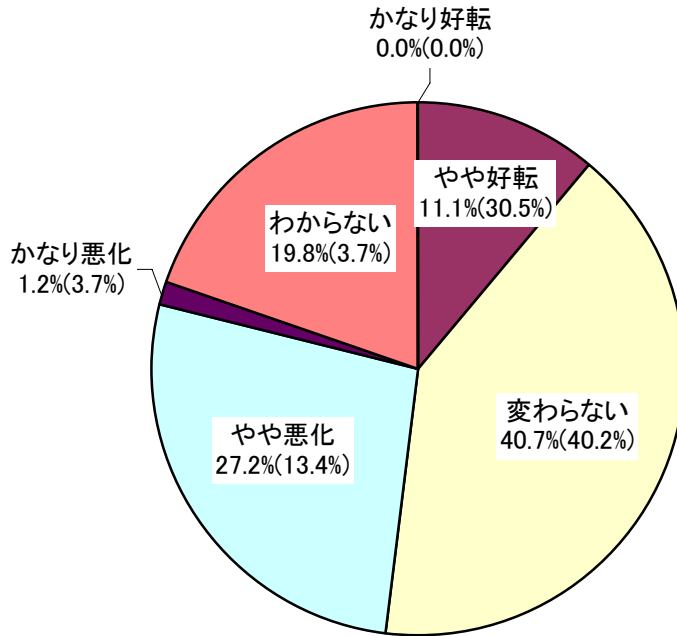
卸売・小売



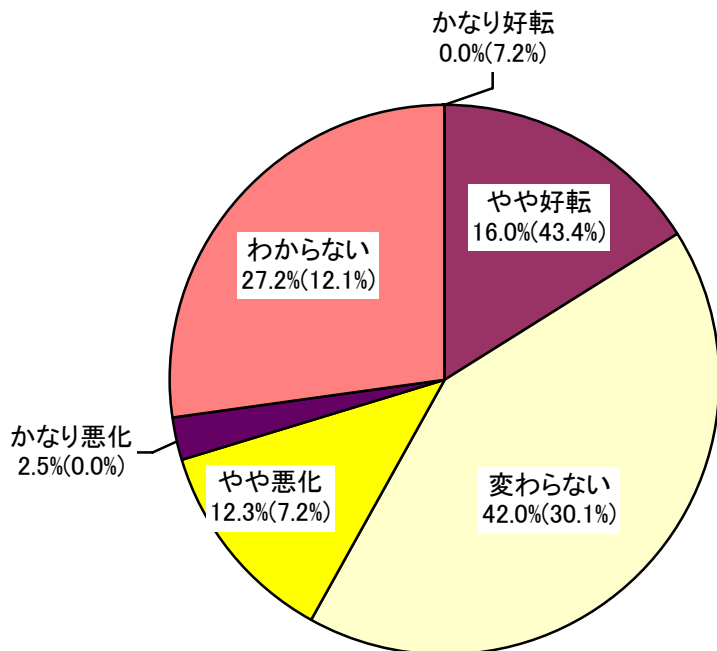
2008年 産業別動向

※グラフ内の()については、前年数値です。

飲食業



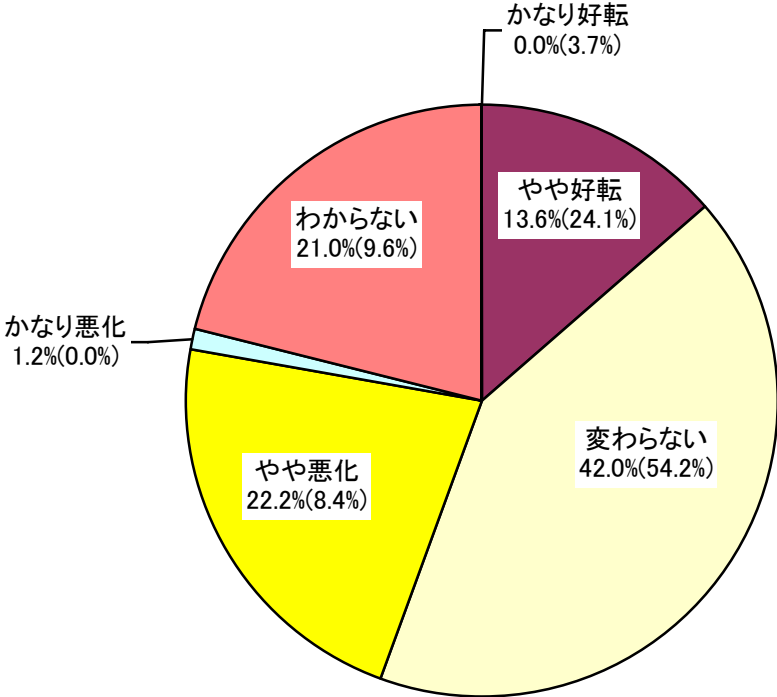
金融・保険業



2008年 産業別動向

※グラフ内の()については、前年数値です。

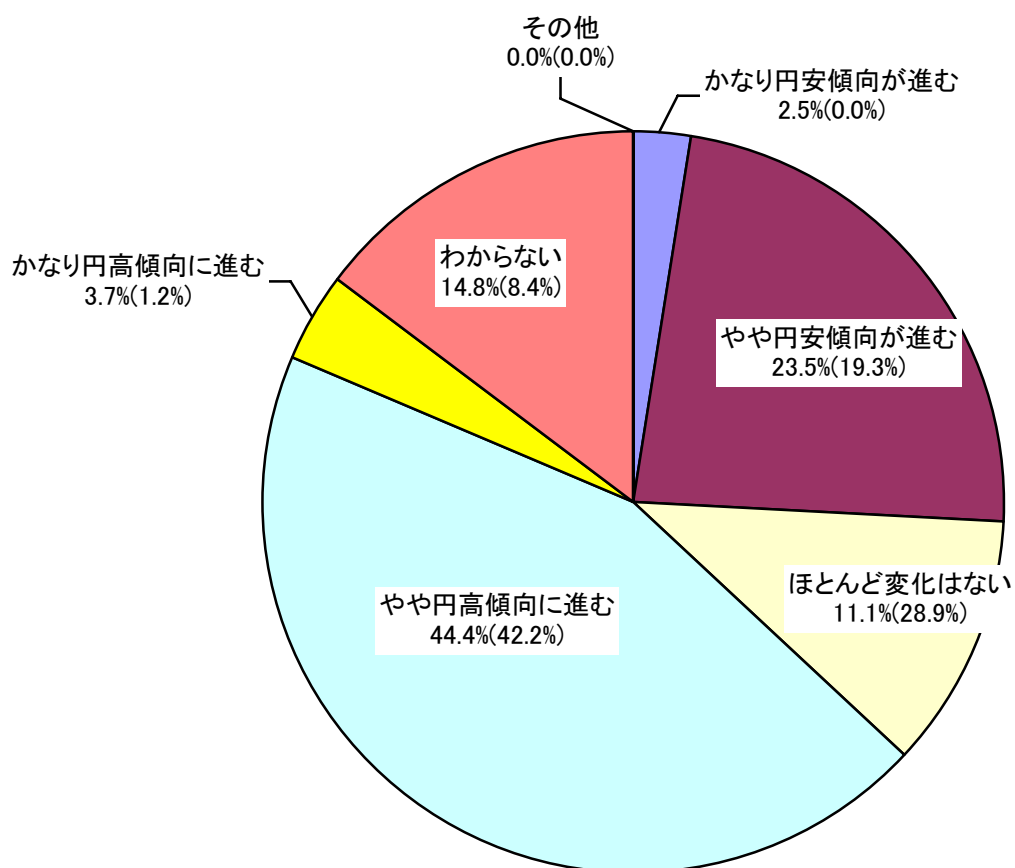
サービス業



2008年 円 市 場

※グラフ内の()については、前年数値です。

「やや円高」が44.4%、「やや円安」は23.5%

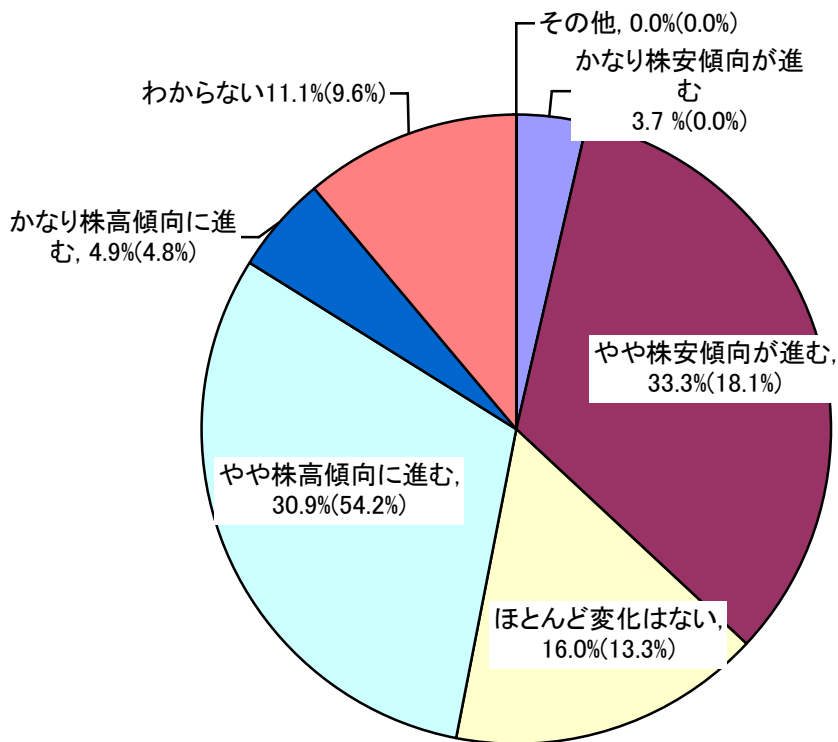


円市場の推移予測は、「やや円高」が44.4%（対前年比2.2ポイント増）、次いで「やや円安」が23.5%（対前年比4.2ポイント増）で、「かなり円高」と「やや円高」を合わせると48.1%と約半数を占め、大方の見方として円高の傾向を予測する結果となった。

2008年 株式市場

※グラフ内の()については、前年数値です。

「やや株安」が33.3%、「やや株高」が30.9%と両極化

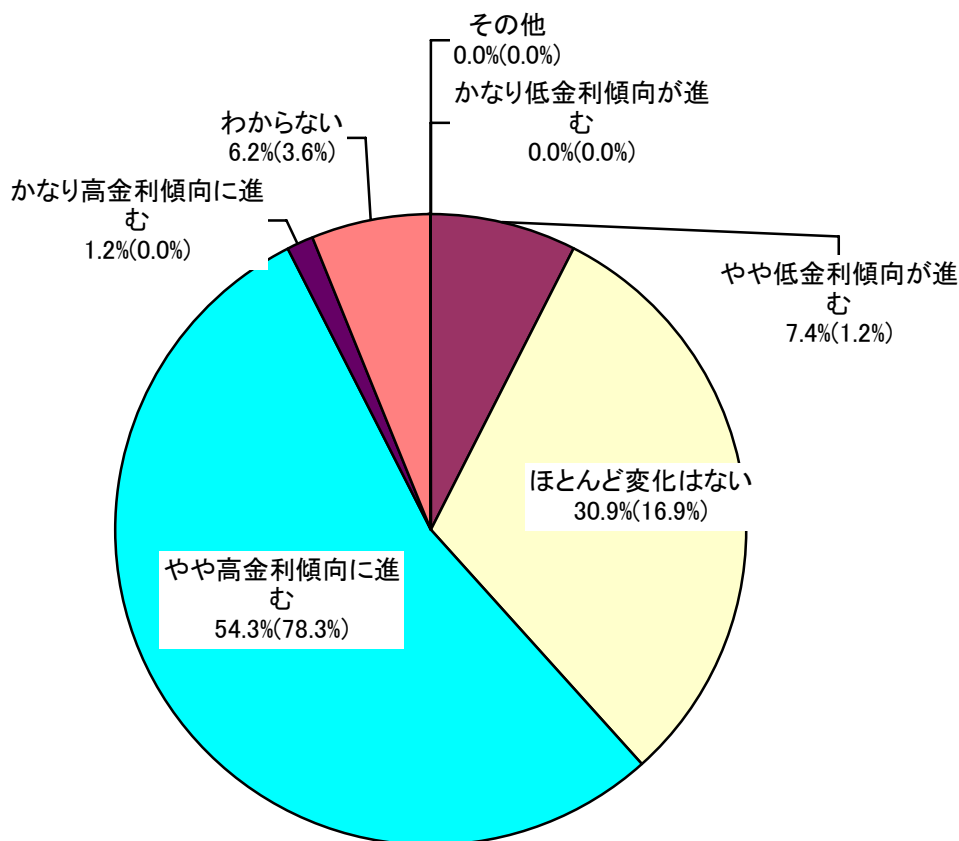


株式市場の推移予測は、「やや株安」が33.3%、次いで「やや株高」が30.9%で、「変化なし」は16.0%となった。「やや株安」と「かなり株安」を合わせると37.0%、「やや株高」と「かなり株高」を合わせると35.8%とほぼ同数の両極化を示し、景気の先行き不透明感を反映する結果となった。

2008年 金利

※グラフ内の()については、前年数値です。

「やや高金利」54.3%



金利の推移予測では、「やや高金利」が54.3%（対前年比24.0ポイント減）と過半数を占め、金利上昇を予測する結果であった。次いで「変化なし」が30.9%（対前年比14.0ポイント増）、「やや低金利」は対前年比6.2ポイント増となったものの、わずか7.4%に止まった。

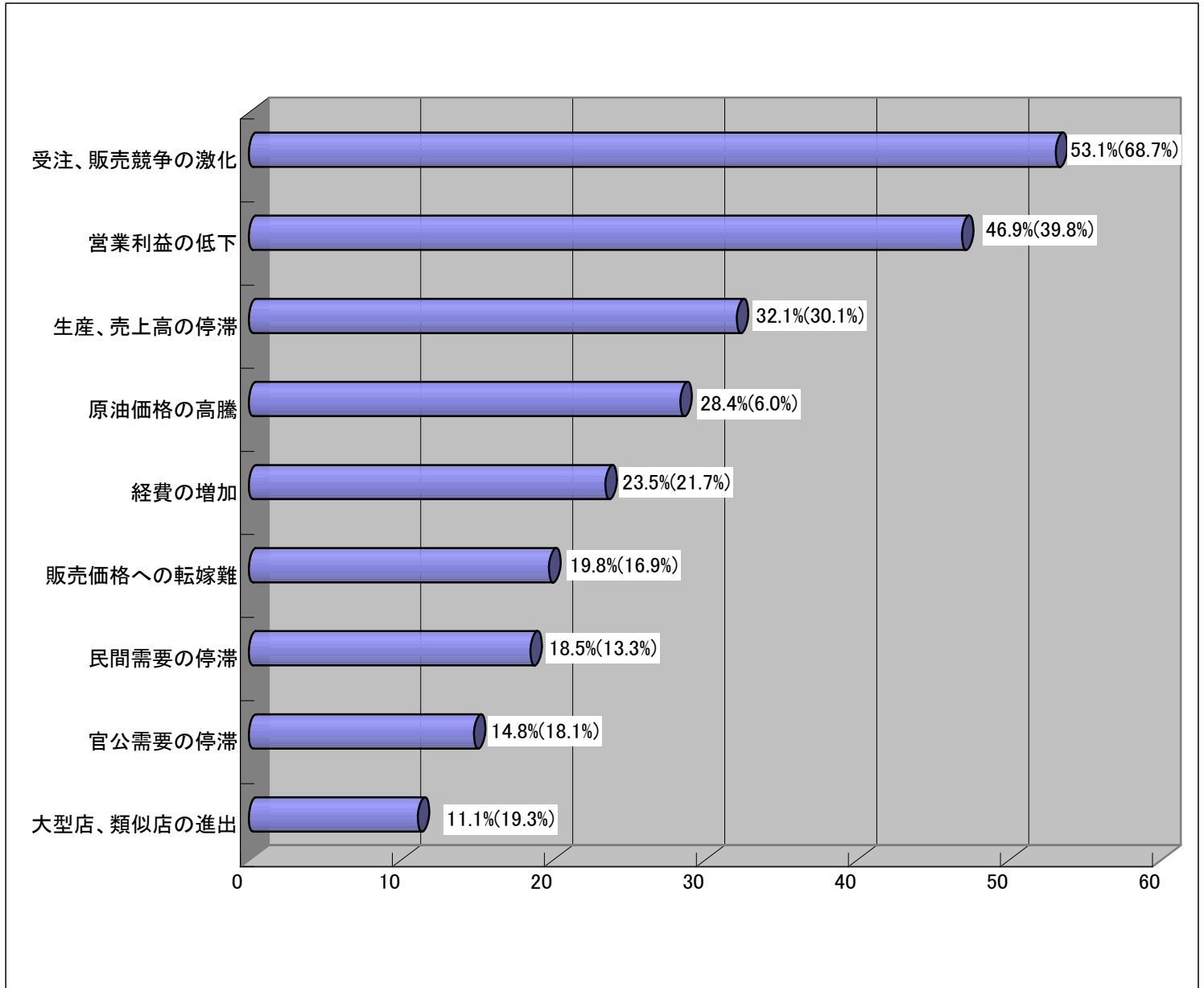
2008年 経営上の問題点

※グラフ内の()については、前年数値です。

トップは「販売競争の激化」、次いで「利益低下」、「売上高停滞」

<主な経営上の問題点>

(複数回答)

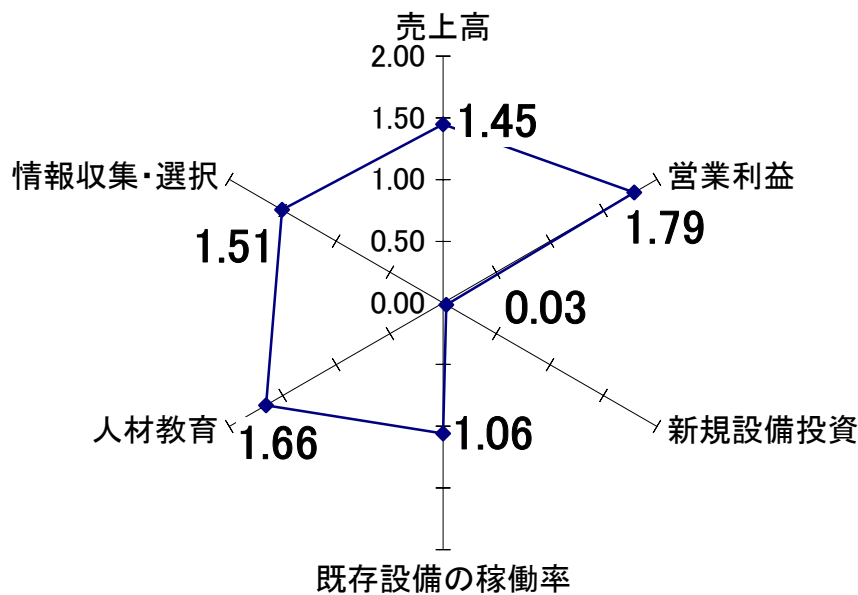


経営上の問題点としては、「受注・販売競争の激化」が53.1%(対前年比15.6ポイント減)、「営業利益の低下」46.9%(対前年比7.1ポイント増)、「売上高停滞」32.1%(対前年比2.0ポイント増)となった。全体的な傾向は、前年と大きく変化がないものの、「原油価格の高騰」が28.4%で対前年比22.4ポイント増となり、原油価格高止まりの長期化が、企業経営に大きく影響を及ぼしている結果となった。

2008年 経営の重視度

「営業利益」重視の傾向が続く～「新規設備投資」に慎重姿勢～

<Radar Chart>



上のレーダーチャートは、「重視度」をポイント換算し作成したもの。

(※)それによると、2008年における経営の重視度は、「営業利益」「人材教育」「情報収集・選択」の3つの面で重視ポイントが高く、例年と同じく重視上位を占める結果となった。また、「新規設備投資」については、ポイントは低く、前年の調査では、設備投資意欲の高まりがみられたものの、今回の調査では、慎重姿勢が窺える。

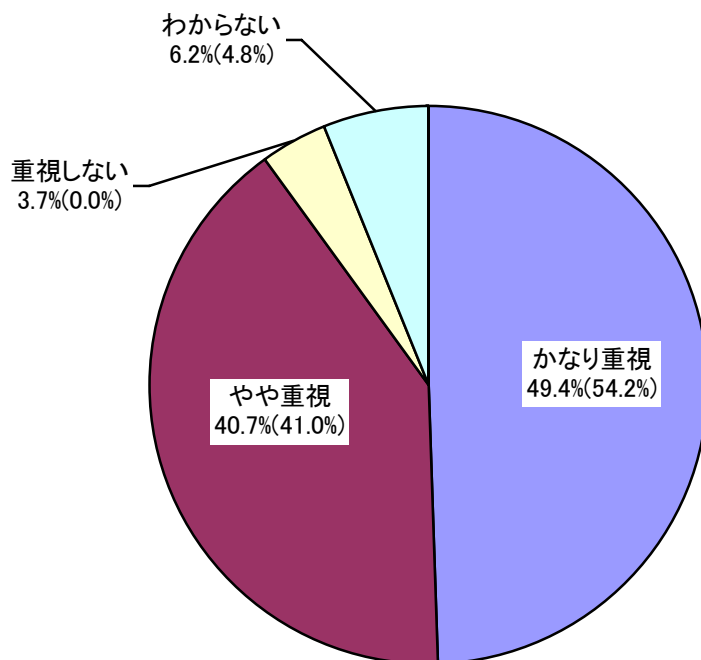
収益面では、売上高を「(かなり+やや)重視する」が90.1%、営業利益「(かなり+やや)重視する」が98.8%となったが、「かなり重視する」の比較では、売上高の49.4%に比して、営業利益は77.8%と当然のことながら「利益効率」を重視する傾向が窺える。生産面では、新規設備投資を「重視しない」が44.4%(対前年比15.5ポイント増)となり、「やや重視する」24.7%(対前年比17.5ポイント減)を上回った。既存設備の稼働率については、「(かなり+やや)重視する」が74.0%(対前年比1.9ポイント減)という結果であった。

※ 「かなり重視」をプラス2、「やや重視」をプラス1、「重視しない」をマイナス1としてトータルポイントを算出し、総回答から「わからない」と回答した人数を引いた数で割ったもの

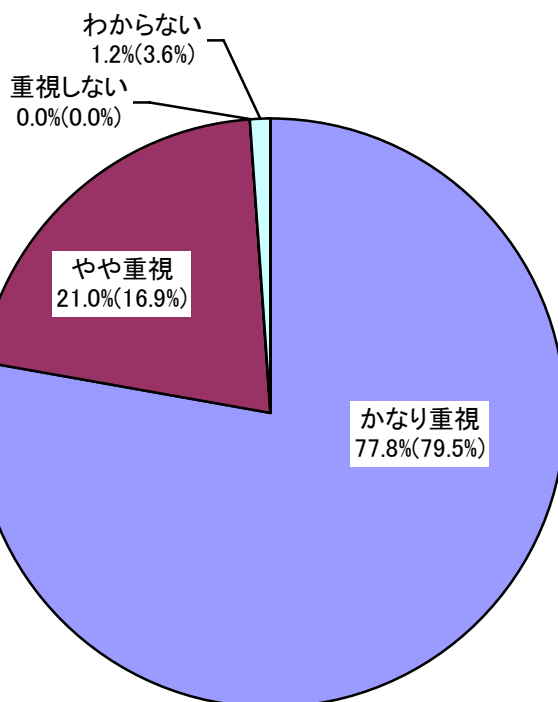
収 益

※グラフ内の()については、前年数値です。

<売上高> 「かなり重視」49.4%



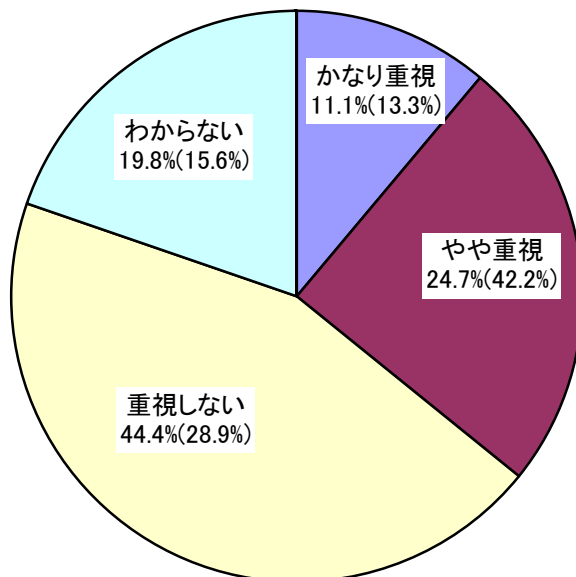
<営業利益> 「かなり重視」77.8%



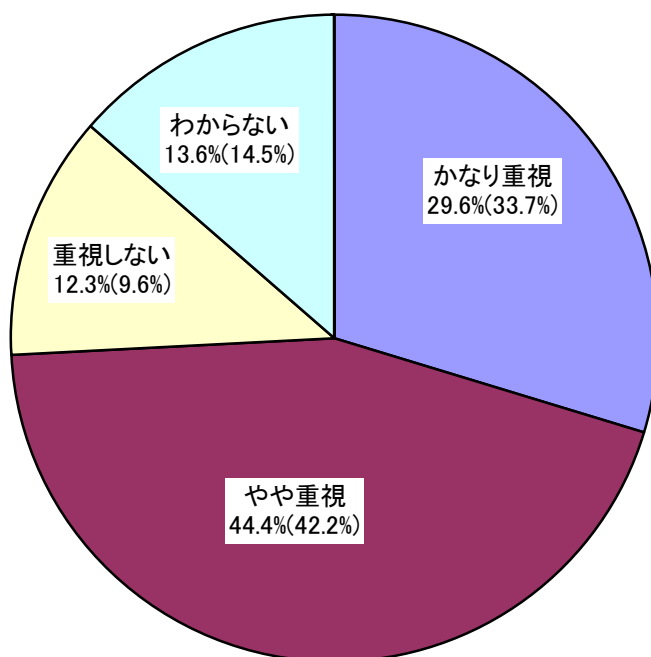
生産

※グラフ内の()については、前年数値です。

<新規設備投資> 「重視しない」44.4%



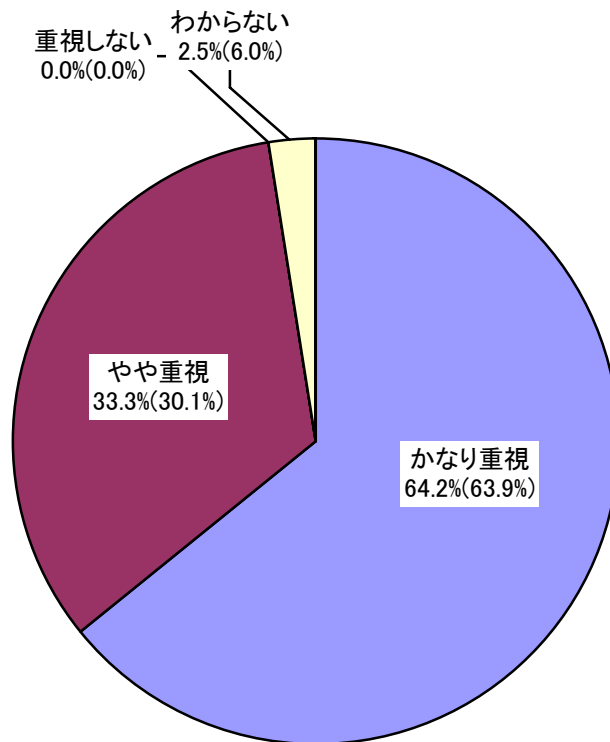
<既存設備の稼働率> 「やや重視」44.4%



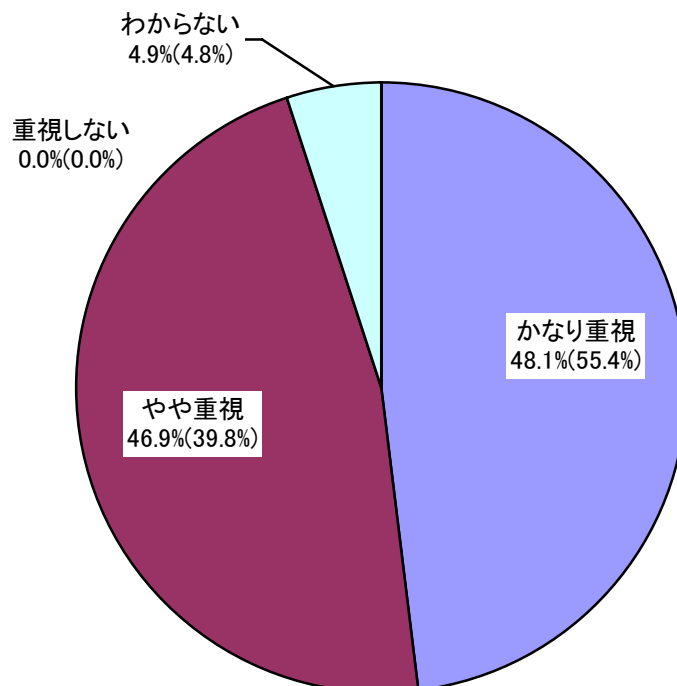
人・情報

※グラフ内の()については、前年数値です。

<人材教育> 「かなり重視」64.2%



<情報の収集・選択> 「かなり重視」48.1%

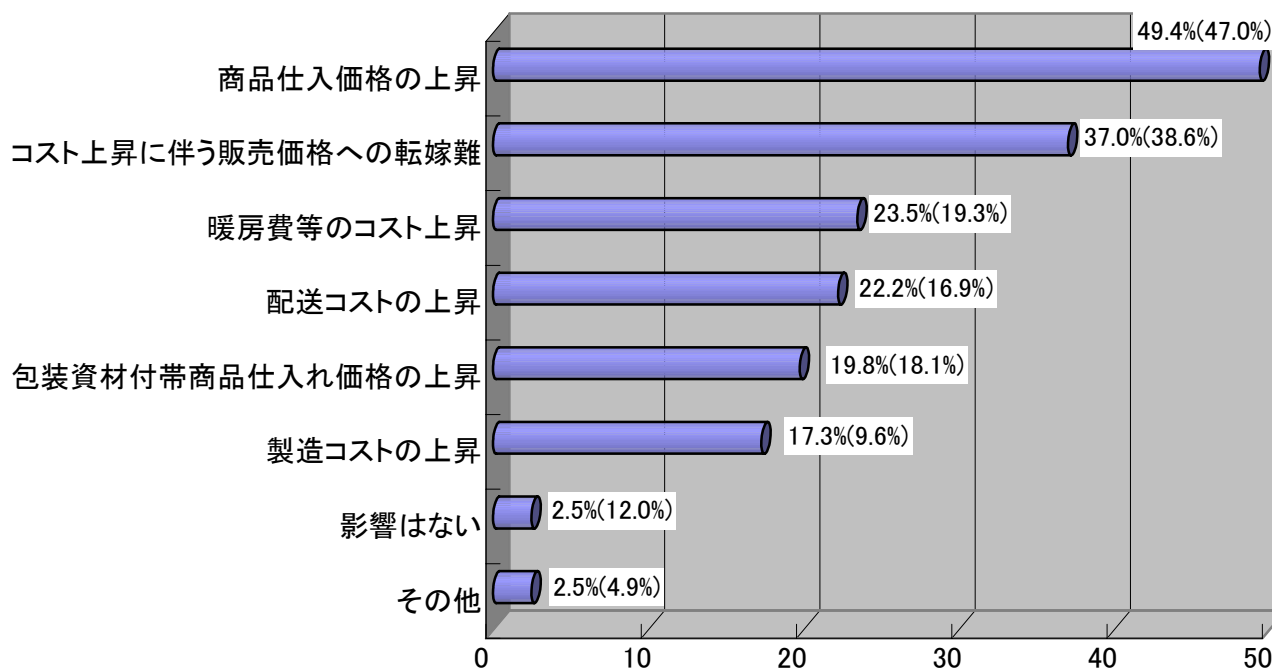


原油価格並びに原材料価格の高騰による影響について

※グラフ内の()については、前年数値です。

(複数回答)

原油価格並びに原材料価格の高騰による影響について



原油・原材料価格高騰による影響については、「商品仕入価格の上昇」が49.4%（対前年比2.4ポイント増）でトップ、次いで「販売価格への転嫁難」37.0%（対前年比1.6ポイント減）となり、「暖房費や配送コスト、付帯商品の仕入価格や製造コストの上昇」においても、対前年比で増加となっているにも関わらず、コスト高を販売価格に転嫁できていないといった厳しい状況が窺える結果となった。一方、「影響ない」は、わずか2.5%で対前年比9.5ポイント減となり、原油・原材料価格の高騰により、殆どの企業が何らかの形で影響を受けているといった結果となっている。

円市場

- Q 4 今年（2007年11月下旬）の為替水準を基準に、2008年の円市場の見通しについて、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

| ※参考(終値ベース、11月19日-23日) | 始値 | 高値 | 安値 | 終値 |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|
| 東京外国為替 円(1ドル=円) | 109.47 | 109.86 | 108.65 | 108.99 |

- (1) かなり円安傾向が進む (2) やや円安傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや円高傾向に進む
(5) かなり円高傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

株式市場

- Q 5 2008年の株式市場の見通しについて、今年（2007年11月下旬）の株式市場の水準を基準に、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

| ※参考(終値ベース、11月19日-22日) | 始値 | 高値 | 安値 | 終値 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 国内株式 日経平均(円) | 14,971.65 | 15,169.87 | 14,807.86 | 14,995.13 |

- (1) かなり株安傾向が進む (2) やや株安傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや株高傾向に進む
(5) かなり株高傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

金利

- Q 6 2008年における貴社の金利の見通しについて、今年（2007年11月下旬）の金利水準を基準に、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) かなり低金利傾向が進む (2) やや低金利傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや高金利傾向に進む
(5) かなり高金利傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

経営の問題点

- Q 7 2008年における貴社の経営上の問題点を、どのように予測されますか。
該当する番号を○でお囲み下さい。(3項目以内)

- (1) 受注、販売競争の激化 (2) 生産、売上高の停滞
(3) 営業利益の低下 (4) 民間需要の停滞
(5) 経費の増加 (6) 販売価格への転嫁難
(7) 官公需要の停滞 (8) 大型店、類似店の進出
(9) ニーズ変化への対応難 (10) 原油価格の高騰
(11) 出荷価格の値下げ (12) 資金借入難
(13) 取引条件の悪化 (14) 情報化への対応難
(15) 新入社員の採用難 (16) その他 ()

経営の重視点

Q 8 2008年における貴社の経営上、重視される点についてどのように予測されますか。なお、本問では回答集約の都合上、選択肢を下記の6項目に限定させて頂いております。該当の□欄にレ印をお付け下さい。

| | ① かなり重視する | ② やや重視する | ③ 重視しない | ④ わからない |
|--------------|--------------|-------------|------------|------------|
| 売上高(完工高、取扱高) | | | | |
| 営業利益 | | | | |
| 新規設備投資 | | | | |
| 既存設備の稼働率 | | | | |
| 人材教育 | | | | |
| 情報の収集・選択 | | | | |

原油価格並びに原材料価格の高騰による影響について

Q 9 最近の原油価格の高騰から、石油製品価格が上昇していますが、貴社において何らかの影響がありましたか。今後に懸念されることも含めて該当する番号を○でお囲み下さい。(2項目以内)

※参考(石油製品市況動向調査 都道府県別小売価格)

| 店頭価格(¥/%) | 揮発油(レギュラー) | 軽油 | 灯油 |
|-----------|------------|-----|-------|
| H19年11月 | 151 | 127 | 1,664 |
| H18年11月 | 138 | 114 | 1,480 |

- | | |
|---|--|
| (1) 商品仕入価格の上昇 (3) 配送コストの上昇 (5) 暖房費等のコスト上昇 (7) その他 () | (2) 包装資材等付帯商品仕入価格の上昇 (4) 製造コストの上昇 (6) コスト上昇に伴う販売価格への転嫁難 (8) 影響はない |
|---|--|